令和４年度学校基本情報

宇都宮アートアンドスポーツ専門学校

宇都宮アートアンドスポーツ専門学校

（目　的）

宇都宮アートアンドスポーツ専門学校は、学校教育法、専修学校設置基準、および各種関係法令を遵守して、健全なる学校運営と教職員の資質向上に取り組んでおります。また、学生一人ひとりの個性を尊重し、資格取得、技術・技能の更なる向上への指導に全身全霊で取り組んでおります。結果、高等教育機関として、社会で活躍できる人材を輩出するために実践的な職業教育を提供しております。

本校は、このような役割を担うにあたり、産業界、各所轄庁、学生、保護者、高校、地域の方々に情報を提供し、教育活動への理解と協力を求め、より強い信頼関係を築いていきたいと考えております。

そのために、下記の項目について情報提供のガイドラインとしています。

Ⅰ．　学校の概要、目標及び計画
　1. 学校名および設置者及び校長名
　2. 所在地及び認可年月
　3. 教育理念（教育方針）
　4. 沿革

Ⅱ．学校及び教職員の組織

Ⅲ．各学科等の教育内容
　1. 入学者の受入れ方針及び定員
　2. カリキュラム等
　3. 進級・卒業条件等
　4. 目標とする資格やコンテスト等
　5. 卒業後の主な進路先

Ⅳ．様々な教育活動・教育環境
　1. 学校行事
　2. 課外活動

Ⅴ．キャリア教育と職業教育
　1. 就職支援体制と取組み
　2. 企業実習への取組み

Ⅵ．学生への生活支援
　1. 学生生活支援への取組み状況

Ⅶ．学生納付金・修学支援

Ⅷ．学校の財務状況

Ⅸ．自己点検及び学校評価報告書
　1. 自己点検結果及び学校評価の評価結果を踏まえた改善案

宇都宮アートアンドスポーツ専門学校

Ⅰ．　学校の概要、目標及び計画

1. 学校名および設置者、理事長及び校長名

学校名　：宇都宮アートアンドスポーツ専門学校
設置者　：学校法人　大久保育英会
理事長　：大久保　知　裕
校　長　：市　田　英　雄

2. 所在地及び認可年月

所在地　：栃木県宇都宮市大寛１丁目２１６５番地
設置認可：平成１１年２月２４日

3. 教育理念（教育方針）

使命・目的・教育方針のもと、教育目標を下記のように定める。

- 専門技術や技能の習得をさせる
- 豊かな人間性と個性の伸張
- 誠実で心豊かな人間性の育成
- 広い視野と優れた創造性を育くむ
- たゆまぬ努力と貪欲な研究心・向上心の育成

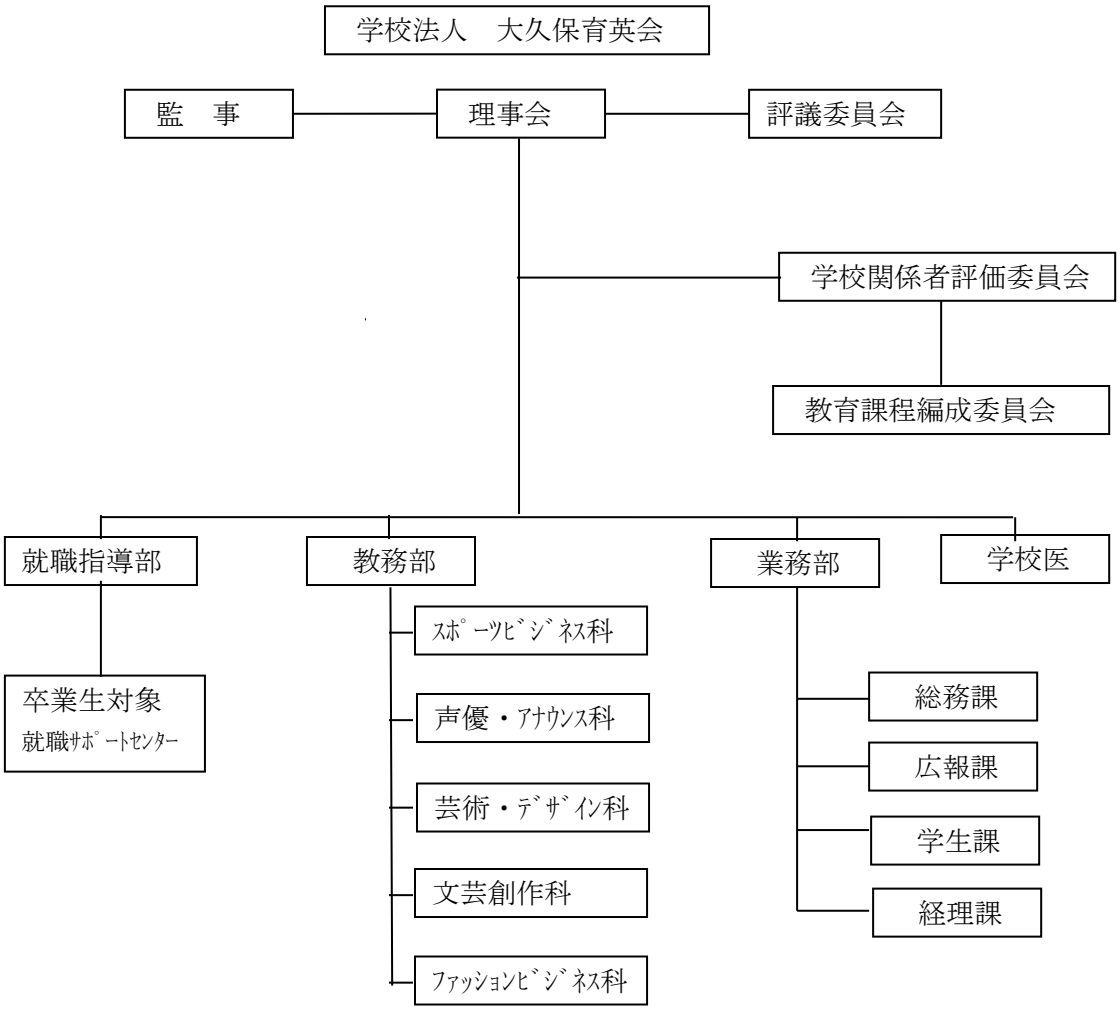
これらを育くむことにより自信をつけさせ「社会での生きる力」を植えつける。

4. 沿革

- 平成 11 年 2 月 24 日　学校法人　大久保育英会　設立認可
  栃木県宇都宮市大寛 1 丁目 2165 番地
- 平成 11 年 4 月　1 日　商業実務専門課程（ｽﾎﾟｰﾂﾋﾞｼﾞﾈｽ科）、文化教養専門課程（声優・ｱﾅｳﾝｽ科）の専修学校として「アートアンドスポーツ専門学校」を開校
- 平成 11 年 7 月 27 日　「アートアンドスポーツ専門学校」名から「宇都宮アートアンドスポーツ専門学校」に校名変更
- 平成 13 年 4 月　1 日　文化教養専門課程　芸術・ﾃﾞｻﾞｲﾝ科を設置
- 平成 18 年 3 月 31 日　新校舎　アートⅡ館　完成
- 平成 18 年 4 月　1 日　文化教養専門課程　ﾏﾝｶﾞ・ｱﾆﾒ科と文芸創作科を設置
- 平成 24 年 5 月 31 日　新校舎　オリオン通り館　完成
- 平成 25 年 4 月　1 日　文化教養専門課程
  ﾌｧｯｼｮﾝﾋﾞｼﾞﾈｽ科とﾀﾞﾝｽｱｰﾃｨｽﾄ科を設置
- 平成 27 年２月２５日　職業実践専門課程認可（スポーツビジネス科）

Ⅱ．学校及び教職員の組織

☆学校の組織図☆



※自己点検評価委員会（学校長、教員、業務からの構成）

宇都宮アートアンドスポーツ専門学校

＜教職員数＞

校　長　１人	教員　１１人	講師　２３人	職員　　５人	合計　４０人

Ⅲ．各学科等の教育内容

1．入学者の受入れ方針及び定員

（１）入学者の受入れ方針

①高等学校卒業者及び卒業見込みの者。

②高等学校卒業と同等以上の学力があると認められた者。

③上記②以外で、本校の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時に１８歳以上に達する者。

（２）学科ごとの定員（令和３年４月入学者）

課程	学　　科	定　　員	総 定 員
専門課程	スポーツビジネス科	３５	７０
専門課程	声優・アナウンス科	４０	８０
専門課程	芸術・デザイン科	４０	８０
専門課程	文芸創作科	２０	４０
専門課程	ファッションビジネス科	２０	４０

2．カリキュラム等

◎スポーツビジネス科

科　　目	1 年次	2 年次
一般教養科目	100 時間	140 時間
専 門 科 目	810 時間	750 時間
合　　計	910 時間	890 時間

・一般教養科目：自己分析と自己啓発、企業分析と研究など

・専 門 科 目：ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ理論、ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾆﾝｸﾞ、ｽﾎﾟｰﾂ実習、障がい者ｽﾎﾟｰﾂなど

◎声優・アナウンス科

科　　目	1 年次	2 年次
一般教養科目	100 時間	140 時間
専 門 科 目	810 時間	810 時間
合　　計	910 時間	950 時間

・　一般教養科目：自己分析と自己啓発、企業分析と研究など

・　専 門 科 目：ﾎﾞｲｽﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ、演技実習、ｱﾌﾚｺ実習、ﾏｲｸ演技など

◎芸術・デザイン科

科　　目	1年次	2年次
一般教養科目	100時間	140時間
専 門 科 目	780時間	810時間
合　　計	880時間	950時間

・ 一般教養科目：自己分析と自己啓発、企業分析と研究など

・ 専 門 科 目：人体の基礎、色彩構成論、デッサン、似顔絵など

◎文芸創作科

科　　目	1年次	2年次
一般教養科目	100時間	140時間
専 門 科 目	720時間	810時間
合　　計	820時間	950時間

・ 一般教養科目：自己分析と自己啓発、企業分析と研究など

・ 専 門 科 目：現代詩研究、物語ｱｲﾃﾞｨｱ実習、編集の基礎、小説家への道など

◎ファッションビジネス科

科　　目	1年次	2年次
一般教養科目	100時間	140時間
専 門 科 目	840時間	810時間
合　　計	940時間	950時間

・一般教養科目：自己分析と自己啓発、企業分析と研究など

・専 門 科 目：ﾌｧｯｼｮﾝﾋﾞｼﾞﾈｽ概論、服飾概論、ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾄﾙ画、服飾ﾃﾞｯｻﾝなど

3．進級・卒業条件等

（1）進級条件

・進級に際し次の各号の要件を全て満たしている者であってかつ、人物・行動が本校の学生としてふさわしいと進級会議で認められた者とする。

①本校が行う各学期末試験において、それぞれの科目ごとに合格点を得ること。

②本校が行う授業には、年間授業時間数の８０％以上の出席をすること。

③本校が指定した公認の「検定試験」に合格すること、または、本校の行う「進級試験」に合格点を得ること。

・進級会議は、毎年度最後の学期末試験の結果が判明した時点で学校長がこれを招集し行う。

(2) 卒業条件

・卒業をするにあたっては、次の各号の要件を全て満たしている者であり、かつ、人物･行動が産業界で役に立つ働きをすることが期待できる者とする。

①本校が行う各学期末試験において、それぞれの科目ごとに合格点を得ること。

②本校が行う授業には、年間授業時間数の８０％以上の出席をすること。

(3) 成績評価

・成績評価については、各科目ごとに次のようにする。

１００点満点において

８０点以上・・・・優

７０点～７９点・・良

６０点～６９点・・可

５９点以下・・・・不可（不合格）

4. 目標とする資格や職業

〇学科別目標資格や目標投稿・オーディション

＜スポーツビジネス科＞

目標資格	２年間で達成すべき数値
①JATI ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ指導者認定	８０％
②ＮＳＣＡ－ＣＰＴ	８０％
③国際救命救急認定　CPR	１００％
④幼児体育指導者検定	１００％
⑤日商販売士３級	１００％
⑥身体障害者初級ｽﾎﾟｰﾂ指導員	１００％
⑦ラジオ体操指導員	１００％

＜声優・アナウンス科＞

（１）　イベント・外部授業の取組み

イベント・外部授業
①卒業演劇公演の実施
②進級演劇公演の実施
③校内オーディション参加とさらなる充実
④乗馬授業の継続実施

（２）　メディア実践授業の取組み

メディア実践授業
①電子書籍『星の砂』のナレーター実践授業
②ﾌｨﾙﾑｺﾐｯｼｮﾝからの映画・TV 出演・CM 出演
③ケーブルＴＶとのコラボレーション番組制作

（３）　地元、演劇関連団体との取組み

地元、演劇関連事業
①地元、イベントへの MC や出演者としての参加

（４）　学生の技術向上のための取組み

・外部でのアトリエ公演の実施。

外部・アトリエ公演の実施
①小・中学校での公演
②福祉施設などでの公演

※校内で実施していたアトリエ公演を外に向けて発信する。

①、②が適しているかは、演目によって検討する。

＜芸術・デザイン科＞

挑　戦　応　募　コ　ン　テ　ス　ト
①電撃イラスト大賞（ｱｽｷｰﾒﾃﾞｨｱﾜｰｸｽ）
②EPA（Entertainment　Package　Award）に入賞 ＜CD ジャケットデザイン・コンテスト＞
③ガンガンＯＮＬＩＮＥイラスト大賞（ｽｸｳｪｱｴﾆｯｸｽ）
④コバルト・イラスト大賞（集英社）
⑤PIXIV への投稿（ﾋﾟｸｼﾌﾞ株式会社）

＜文芸創作科＞

挑　戦　応　募　コンテスト
①「星の砂」に年一回は投稿する（宇都宮ｹｰﾌﾞﾙﾃﾚﾋﾞ）
②「ＭＦ文庫Ｊライトノベル新人賞」（ﾒﾃﾞｨｱﾌｧｸﾄﾘｰ社）
③「講談社ラノベ文庫新人賞」（講談社ﾗﾉﾍﾞ文庫 J）
④「ｽｰﾊﾟｰﾀﾞｯｼｭ小説新人賞」（集英社）
⑤「早稲田文学新人賞」（不定期）（早稲田大学）
⑥「電撃小説大賞」（ｱｽｷｰﾒﾃﾞｨｱﾜｰｸｽ社）最多応募数誇る
⑦「小学館ライトノベル大賞」（小学館）

『新・宇都宮文学』集の継続発刊

＜ファッションビジネス科＞

検　定　試　験	２年間で達成すべき数値
①ﾌｧｯｼｮﾝﾋﾞｼﾞﾈｽ能力検定３級	１００％
②ﾌｧｯｼｮﾝ色彩能力検定３級	１００％
③ｶﾗｰｺﾃﾞｨﾈｰﾀｰ検定　３級	１００％
④ﾌｧｯｼｮﾝﾋﾞｼﾞﾈｽ能力検定２級	８０％
⑤ﾌｧｯｼｮﾝ色彩能力検定２級	８０％
⑥ﾌｧｯｼｮﾝ販売能力検定３級	１００％
⑦日商　販売士　３級	１００％
⑧ﾌｧｯｼｮﾝ販売能力検定２級	８０％

5. 卒業後の主な進路先

・ビッグツリースポーツクラブ/ＳＧＣスポーツクラブ/セントラルスポーツクラブ/ｇｌｏｂｅコーポレーション/ゴールドジム/栃木県健康倶楽部/イオンリテールスポーツ＆レジャー事業部/ファクトリージャパングループ/ＩＰＳスポーツクラブ/鹿沼ゴルフ倶楽部/東武スポーツ/スポーツアベニュー/マックスジム/デサント/ムラサキスポーツ/ホリデースポーツ/今市スイミングスクール/オリックス・ゴルフ・マネジメント/ＫＰＥＣ ＦＩＴＮＥＳＳ ＣＬＵＢ/クラシオン/ファインドスポーツクラブ/Ｂアプロコーポレーション/鹿沼整形外科/渡辺整形外科/８１プロデュース/青年劇場/東京芸術座/ジャパンアクションエンタープライズ/ＳＴＵＮＴ　ＪＡＰＡＮ/レッド・エンタテインメント・デリヴァー/ユニバーサル・スタジオ・ジャパン/ＭＣＴ/劇団若草/ゆーりんプロ/井上総合印刷/松井ピ・テ・オ印刷/宝映テレビプロダクション/麗タレントプロモーション/スーパーエキセントリックシアター/シグマ・セブン/スタジオ･ブーメラン/マジックバス/スタジオアド/劇団２１世紀ＦＯＸ/スタジオイングレッサ/アニメ・スポット/ＡＩ/スタジオ・イースター　ほか

Ⅳ. 様々な教育活動・教育環境

1. 学校行事

月	主な学校行事
４月	入学式　オリエンテーション 企業説明会
５月	スポーツ大会
６月	進路研究会
７月	夏休み開始
８月	コミックアート展
９月	定期試験
１０月	市内文化祭出展
１１月	卒業演劇公演
１２月	学校祭 冬休み開始
１月	校内オーディション 高資格授与式 定期試験（２年次）
２月	新社会人セミナー（１週間） 進級年次の就職ガイダンス（１週間） 定期試験（１年次） 春休み開始
３月	卒業式 進級演劇公演

2. 課外活動

（1）部活動的サークルの実施

サークル
①野球部（軟式）
②バスケット部
③フットサル部（ミニサッカー）
④バレーボール部

（2）その他の活動

①各種ボランティアへの参加

- 宮祭り　・宇都宮花火大会　・宇都宮マラソン大会　・交通安全の集い
- 東武デパート似顔絵イベント　　・釜川清掃　・栃木ＳＣサポート
- 日光ｱｲｽﾊﾞｯｸｽ試合サポート

他、県内各市イベントに多数参加

Ⅴ．キャリア教育と職業教育

1. 就職支援体制と取組み

組織図でもわかるように、本校は就職サポートのための就職指導部を置き、学生達のニーズに合わせ求人の開拓、就職指導・管理を行っている。

＜主な就職活動支援＞

- １月　就職セミナー実施
- ２月　就職希望者調査
- ３月　就職ガイダンス
- ４月　独自の企業説明会の実施
- 毎週、担任への就職情報提供の会議の実施
- 外部主催就職ガイダンスへの参加とアドバイス
- マンガ作品を編集社への持込サポート
- 「新・宇都宮文学集」「マンガ同人誌」「イラスト集」の発刊と売込み
- 就職個別相談会の実施
- 「就職サポートセンター」の運営（卒業生対象）

2.企業実習への取組み

- 市内スポーツ施設などの企業等と連携した実習
- 地元スポーツ施設でのインターンシップ実施
- 地元プロスポーツチーム活動支援
- 地方公共団体主催スポーツ大会運営支援

Ⅵ．学生への生活支援

1. 学生生活支援への取組み状況

（1）本校独自の制度

１．一芸奨励金

学力以外に何か一つ非常に優れた技術や技能があると、本校が認めた者については、学費の一部を免除することがある。

２．留年学費免除制度

進級の際、進級考査を行い、熱心に学業に取組んでいるが、知識の修得状況が基本ラインまで達しないと思われた者がいた場合、同じ学年にもう一度チャレンジできる。この場合、留年中の授業料は免除される。

３．スポーツの成績による特待生

本校スポーツビジネス科入学者で高等学校在学中に、スポーツ（出場メンバ）で全国大会ベスト８以上や県大会ベスト８以上など成績ランクにより一部授業料が免除される（先着１０名まで）

４．作文による特待生

作文試験（１時間で 800 字以上 1200 字以内）及び面接にて優秀者に一部授業料が免除される。

（２）授業料分割支払い希望者への配慮

本校では、家庭環境を十分に考慮して、授業料の支払いの分割申請を許可している。ただし、申請者は学校指定の申請書類を提出し、学校が認めた場合にのみ可能である。

（３）遠方通学への配慮

本校では、遠方から入学希望者のためにアパート希望の学生には、信頼がおける不動産屋を紹介して、よりよい物件で充実した学生生活が送れるようにサポートしている。

（４）無料スクールバスの運営

本校は、姉妹校宇都宮ビジネス電子専門学校と協力して、ＪＲ宇都宮駅から学校まで、無料のスクールバスの運行を行っている。

Ⅶ．学生の納付金・修学支援

１．学生の納入金　　全学科　入学金は１００，０００円

学科	授業料（年額）	施設費（年額）
スポーツビジネス科	６６０，０００円	２７０，０００円
声優・アナウンス科	６６０，０００円	２７０，０００円
芸術・デザイン科	６６０，０００円	２７０，０００円
文芸創作科	６６０，０００円	２７０，０００円
ファッションビジネス科	６６０，０００円	２７０，０００円

諸費用

・教科書・教材費は年間約１００，０００円から１９０，０００円（学科によって異なります）
・同窓会入会金１０，０００円
・卒業年次には、卒業諸費用（卒業旅行費、アルバム代、謝恩会費、卒業記念品代など）として、別途６５，０００円必要となります
・スポーツビジネス科では、ビッグツリースポーツクラブの年間使用料約 91,000 円スイミングスクール費約 6,600 円が必要となります。
・声優・アナウンス科、では乗馬授業を選択した場合、乗馬実習費用として１回 3,500 円（月 4 回実施予定）が必要になります
・芸術・デザイン科では、デッサン用具一式代として約 90,000 円が必要となります。
・ファッションビジネス科ではメイク・ヘアメイク道具一式として、約 27,000 円が必要となります。
・その他、図書費・寄付金などは、一切ありません。

２．修学支援

（１）日本学生支援機構の奨学金制度

第一種奨学金　自宅通学　　貸与月額　２万～５万２千円　無利息
　　自宅外通学　貸与月額　２万～６万円　無利息
第二種奨学金　貸与月額　２万、３万、４万、５万、６万、７万、８万
　　９万、１０万、１１万、１２万円から選択
　　在学期間は無利息、卒業後は年利 3%を上限とする利息付
（返済期間は卒業後、6 ヶ月経過後、9 年から 20 年）

＊申込資格など詳しい内容については下記のホームページでご確認下さい。
日本学生支援機構ホームページ　http://www.jasso.go.jp/

（２）国の教育ローン（日本政策金融公庫）

融資額　　350 万円以内
年利　　1.7%（固定）母子家庭の場合（所得制限あり）1.3%
　　（令和 2 年 4￥5 月現在）
返済期間　15 年以内

＊申込資格など詳しい内容については下にお問い合わせ下さい。
教育ローンコールセンター　TEL　0570-008656

（３）金融機関進学・教育ローン

＊各金融機関にてお問合せ下さい。

Ⅷ．学校の財務状況

◎ 私立学校法第４７条に規定されている財務情報公開にも続き、本校では令和２年度の財務情報をホームページの
https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/
掲載している。

Ⅸ. 自己点検及び学校評価報告書

1.自己点検結果及び学校評価の評価結果を踏まえた改善案

本校では、自己点検結果及び学校評価の評価結果を踏まえた改善案をホームページの

https://www.ubdc.ac.jp/art/careersupport/release/

に公開している。